

《子宮がん・乳がん検診を受けましょう!》 — 受診方法のお知らせ —

がんは、日本人の死亡原因の1位であり、2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなると言われています。

その中でも、乳がんは20人に1人が発症すると言われており、子宮頸がんも20〜30代で急増しています。婦人科がんは、女性なら誰でもかかる可能性が十分ある、大変身近ながんです。市では、子宮頸がん検診は20歳以上、乳がん検診は30歳以上の女性を対象に検診を行っています。

1. 集団検診を受ける場合

12月まで各保健センターで検診を行っています。笠間市保健カレンダー(25、26ページ参照)で日程を確認して、各保健センターに予約をしてください。

2. 医療機関検診を受ける場合

- ①はじめに、県内指定医療機関に検診の予約をしてください。(石岡医師会病院は保健センターで予約をします。)
- ②予約後、保健センターに来所し、「受診券」と「検診票」を受け取り、料金を支払う。

て、受診してください。
* 指定医療機関および詳しいことは、保健センターへお問い合わせください。

3. 自己検診について

乳がんの早期発見のために、検診を受けると共に、月に一回の自己検診を行いましょ。生理終了1週間後、または毎月日にちを決めて行います。指の腹を使って乳房全体を圧迫しながら触れ、乳房にしこりや分泌物がないか、確認しましょう。

しこりや不正出血など、自覚症状のある方はお早めに、専門の医療機関で受診することをお勧めします。



【問合せ】

友部保健センター
TEL 0296-77-9145
笠間保健センター
TEL 0296-72-7711
岩間保健センター
TEL 0299-45-7888

笠間のがんばる企業紹介②⑤

市内で活躍する企業を支援するために結成された「笠間市がんばる企業応援連絡会」。このコーナーでは、連絡会に加入している企業の皆さんを紹介しします。

(有)藤岡とうふ店

今回紹介するのは、鯉淵地区で操業する(有)藤岡とうふ店です。昭和2年に東京都で創業。現在は、移動販売車で各家庭を一軒一軒訪問する「おとうふ家族」ブランドが好評で、県内全域に販売しています。3代目社長の藤岡麻夫さんと、会長の藤岡正勝さんにお話を伺いました。

— 現在の場所にお店を構えた理由を教えてください。 —

社長「ここで採れる地下水が豆腐づくりに最適だったからです。130mの深井戸から汲み出す当店の水は、余分なミネラルが入っていない軟水です。無味無臭なので素材の香りが引き立ち、料理に最適なので、地元の方も水を汲みにいらつしやいます。」

— 豆腐を自宅まで届けてくれるサービスは、とてもユニークですね。 —

会長「宅配事業は今から12年ほど前に始め、県内に9事業所、80台の移動販売車を構える当社のメイン事業に成長しました。昔はラッパを吹きながら自転車ですり歩き豆腐屋さんの姿を見かけたものです。精魂込めて作った豆腐を、お客様の喜ぶ顔を見ながら届ける当社の事業はその現代版と言えるかもしれ

ません。最近では、自動車を持っていない高齢者の方々にも大変喜ばれています。」

社長「豆腐を使った惣菜類も積極的に開発しています。豆腐のから揚げやチーズケーキなど、お客様が五感で楽しんでいただけるようなメニューを社員みんなで考えています。」

— 今後の目標を聞かせてください。 —

会長「初代社長は『豆腐と水には旅をさせるな』とよく言っていました。価格に惑わされることなく、安全な素材を顔の見える関係でお客様にお届けし、店の暖簾を守り続けることが大切だと考えています。」



水汲み場は市民にも開放されている

【(有)藤岡とうふ店】

従業員数…45人(パート含む)
※文責▽笠間市役所企業誘致推進室(内線228)